

2021年度
事業報告書
収支決算書

自 2021年 4月 1日
至 2022年 3月31日

一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

2021年度事業報告書

I. 総括

2016年8月、日本財団 TOKYO 展 2020(任意団体)として設立、2016年10月3日に一般財団法人に移行した。2017年4月、これまで以上に全ての人が共に生活できる社会の実現をより一層加速させるため、新たに舞台芸術公演の開催を事業内容に加えることにし、団体名称を「一般財団法人日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS」に変更した。

一般財団法人日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS の設立から5年目にあたる2021年度は、以下の事業を実施した。

- (1) 当初、企画展事業は、2020年7月～9月の2か月間、東京オリンピック、パラリンピックの開催時期にあわせ、船の科学館（東京・お台場）を会場に企画展「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 展（仮称）」の開催を予定していた。しかし2020年1月頃から日本でも新型コロナウイルス感染者数が増加、企画展の延期と内容の見直しをすることとした。2021年度も前年度同様、展覧会の内容について関係団体と協議・検討してきた。なお、会場となる船の科学館に設置した設備の点検、同館所蔵の模型等の保管を継続して実施した。
- (2) 「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS」の事業内容を広く周知するため情報発信に努めた。
- (3) 公募事業では、2020年度「第3回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」を開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展覧会中止により展示できなかった2019年度（第2回）作品募集において選出された作品も展示した。また、感染拡大防止の観点から予定していた関連イベント開催は見送り、授賞式は中止した。2021年度事業として「第4回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」を実施し、障害のある人にアート活動の機会を提供するとともに、広く社会に発信するために作品募集から展覧会の実施準備を行った。
- (4) 多様性をテーマにした舞台芸術のプログラムでは、皆が支えあう社会の実現を目指して音楽、ダンス、演劇など様々な企画による舞台芸術のシリーズ「True Colors Festival」を展開。2021年度は、2020年に新型コロナウイルスの感染拡大のため一時中止となったプログラムの再開を検討し、3つのプログラムを実施することができた。そのうちの2プログラムはオンライン配信による発表となった。そのほかに、2つのオンラインでのプログラムを開催した。依然続く、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、オンラインでの取組やメディアと連携した企画により、メッセージの発信に取り組んだ。

II. 実施事業の概要

A. 障害者等によるアート作品の展覧会の開催

a. 企画展「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 展（仮称）」

2021 年度も、前年度同様、日本財団と内容や方向性の策定にあたり協議を重ねてきた。しかし、新型コロナウイルスの流行が 2 年を超え、終息の兆しが見えない状況で、結論を出すまでには至っていない。

b. 企画展会場の管理及び復帰

船の科学館を企画展の会場にするか否かについては結論が出ていないため、前年度に続き会場の維持・管理を実施した。また、船の科学館の改修工事、企画展実施に伴い当財団で保管している同館所蔵の模型等の展示物も継続して保管を行った。

B. 情報発信

ホームページや各種媒体を通じて、各種事業の情報発信に努めた。

a. Web メディア「DIVERSITY IN THE ARTS TODAY」

「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS」のメインサイトとして、取材・企画制作記事掲載を中心に、当団体実施イベントや情報を伝えるページを随時更新公開した。

今年度は取材記事 32 本を制作し、前年度制作分を合わせて 32 本を公開した。関係イベントなどのニュース記事 55 本を作成・公開した。また、公開済みの日本語記事を英訳した英語記事を 13 本制作して順次公開した。

本 Web サイトへの年間総訪問者数は延べ 208,930 人で、ページビュー数は 246,449PV であった。

2021 年 8 月に JIS X 8341-3-2016 に基づくウェブアクセシビリティ試験を実施し、試験結果を受けてサイトのデザインやシステムの改善を施した。その上で、運営団体としてのウェブアクセシビリティに対する取り組みと姿勢をサイト上に表明した。

b. ソーシャルメディアとの連携

Facebook、Instagram、Twitter と Web メディア「DIVERSITY IN THE ARTS TODAY」を連動させ、情報の拡散に努めた。2022 年 3 月末時点で、Facebook の「いいね」が 2,168 件、フォロワー数 2,708 人、Instagram のフォロワー数 2,837 人、Twitter のフォロワー数は 158 人となり、堅実に数を伸ばしている。

c. 「DIVERSITY IN THE ARTS PAPER」の発行

Webメディアで公開する記事を再構成し、「DIVERSITY IN THE ARTS PAPER」（タブロイド版、フリーペーパー）として、10号と11号を発行した。発行部数は各号15,000部で、文化施設、福祉施設、学校、書店、カフェ等の拠点に発送して配架・配布協力をしてもらった。協力拠点は全国で増加しており、また、プロモーションイベントなどでのPAPER配布を通じて本事業周知が広がって来ている。

d. **メールマガジンの配信**

年間ほぼ月1回のペースで計10回、延べ26,470ユーザー宛てにメールマガジンを配信した。

C. **「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」の実施**

a. **「第3回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」授賞式及び展覧会**

2020年度（第3回）及び中止した2019年度（第2回）において選出された作品を展示した展覧会を開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため予定していた関連イベントは見送り、授賞式は中止した。

(1) **授賞式の開催（中止）**

開催日 2021年4月3日(土)
会場 Bunkamura Gallery

(2) **展覧会（開催）**

名称 第3回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展
主催 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS
共催 社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団（横浜会場）
協力 国際障害者交流センター ビッグ・アイ
Bunkamura（東京会場）

展覧会アートディレクター 中津川浩章（美術家／アートディレクター）

会場 <東京会場>

会期 2021年4月3日(土)～4月18日(日)

時間 10:00～19:00

会場 Bunkamura Gallery/Wall Gallery

<横浜会場>

会期 2021年4月21日(水)～4月26日(月)

時間 9:30～18:00（25日(日)は17:00まで）

会場 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

内容 <東京会場>

第3回及び第2回入選作品の中から154点の展示
受賞作品（第3回：13点、第2回：11点）

入賞作品（第3回：44点、第2回：57点）
国外佳作作品（第3回：8点、第2回：4点）
別枠作品（第3回：6点、第2回：11点）

<横浜会場>

第3回入選作品の中から57点の展示
受賞作品（13点）
入賞作品（44点）

来場者数（延数） 東京会場：3,519名 横浜会場：841名

(3) その他（制作完了）

- ・ 図録制作（800部 ※第3回入選作品の掲載）
- ・ 各種チラシ制作

b. 「第4回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」

障害のある人にアート活動の機会を提供し、有能なアーティストの発掘、支援を行い、社会に発信することを目的に、障害のある方を対象にアート作品の公募、審査及び展覧会を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため予定していた関連イベントは見送り、授賞式は中止した。

(1) アート作品の公募

募集期間 2021年7月1日(木)～7月15日(木)

募集内容 国内外を問わず、障害のある方が制作したアート作品で過去に受賞歴のない作品。

応募点数 1作者につき3点以内

出品規格 絵画、イラスト、グラフィックデザイン、書、写真、造形など。
素材やテーマは自由。

平面作品 縦200cm×横120cm以内

立体作品 高さ200cm×奥行150cm×重量50kg以内

(2) 公募作品の審査・選考

審査員

秋元雄史 東京藝術大学 名誉教授、練馬区立美術館 館長

上田バロン FR/LAME MONGER 代表、イラストレーター

エドワード M. ゴメズ brut journal 創刊者 兼 編集長

中津川浩章 美術家、アートディレクター

永野一晃 写真家

望月虚舟 書家

審査方法

<一次審査> 国外応募は8月中旬、国内応募は9月上旬に審査員による書類（写真）審査を実施。

<二次審査> 審査員立会いのもと、一次審査通過作品の現物審査を実施。審査員賞/海外作品賞/入賞/佳作併せて126作品を選出

二次審査（現物審査）実施日 2021年11月6日(土)

応募作品数 2,122 作品（国内応募 2,015 作品、国外応募 107 作品）

(3) 授賞式及び展覧会の開催

2021年度（第4回）において、選出された作品を展示した展覧会を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた関連イベント開催は見送り、授賞式は中止した。

- ・ 授賞式（中止）

開催日 2022年4月16日(土)

会場 Bunkamura Gallery

- ・ 展覧会（開催）

名称 「第4回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」

主催 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

共催 社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団（横浜会場）

協力 国際障害者交流センター ビッグ・アイ

Bunkamura（東京会場）

展覧会アートディレクター 中津川浩章（美術家／アートディレクター）

会場 <東京会場>

会期 2022年4月13日(水)～24日(日)

時間 10:00～19:00

（4月13日(水)は12:00開場 ※10:00～12:00は報道関係者向け内覧会を開催）

会場 Bunkamura Gallery/Wall Gallery

<横浜会場>

会期 2022年4月27日(水)～5月1日(日)

時間 9:30～18:00

（4月29日(金)祝、5月1日(日)は17:00まで）

会場 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

内容 <東京会場>

第4回入選作品の中から81点の展示

受賞作品（9点）、入賞作品（54点）、国外佳作作品（7点）

別枠作品（11点）

<横浜会場>

第4回入選作品の中から63点の展示

受賞作品（9点）、入賞作品（54点）

来場者数（延数） 東京会場：4,047名 横浜会場：699名

(4) その他（制作完了）

- ・ 図録制作（700部※第4回入選作品の掲載）
- ・ 各種チラシ制作

D. 多様な個性のあるアーティストとの連携による舞台芸術シリーズの実施

多様性をテーマにした舞台芸術に関連するプログラムを計5本実施した。そのうち1プログラムは劇場に観客を入れる対面でのプログラム、そのほかは新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、オンラインによるプログラムとなった。またオンラインでの情報発信のほか、国内を中心にテレビやラジオ等のマスメディアを通じた広報の強化を行った。これら一連のプログラムを日本財団との連携・共催のもと、「True Colors Festival—超ダイバーシティ芸術祭—」と銘打ち一連の取り組みを行った。

a. カナダ人アーティストと60代以上の一般シニアによるドキュメンタリー演劇「True Colors DIALOGUE ～私がこれまでに体験したセックスのすべて」

時 期 2021年4月8日(木)～11日(日)

場 所 スパイラルホール（東京都港区）

内 容

一般公募で集まった高齢者5名とカナダ人アーティストによる性をテーマにしたドキュメンタリー演劇を計4回にわたり上演。コロナ対策のため客席の約70%を使用して実施したが、連日満員となり、SNSを中心に大きな反響を得た。

来場者数 472名

b. SLOW CIRCUS PROJECT パフォーマンス公演「True Colors CIRCUS ～tokyoo（トーキョー）虫のいい話」

時 期 2021年4月24日(土) 公開リハーサル

4月25日(日)、26日(月) 本番(中止)

場 所 池袋西口公園グローバルリングシアター

6月1日(火)からオンラインでの上演記録の配信を実施。

内 容

障害の有無を超えた総勢50名のキャストによるサーカス公演。本番2日前に緊急事態宣言が発出され、会場ではメディアや関係者向けの公開リハーサルを1回上演し、本番は中止とした。公開リハーサルの様子を記録・配信を行うことで多くの方にご覧いただくことができた。

また、新型コロナウイルス感染拡大のため来日を取りやめたカナダ人アーティストを含む、プロのサーカスパフォーマーによる、オンラインでのワークショップを2021年4月3日(土)に開催した。

参加者数 ワークショップ 約20名

公開リハーサル来場者数 285名

動画視聴再生回数 6,661回（2021年6月1日～22年3月30日の間）

c. オンライン・ファッションショー「True Colors FASHION～身体の高多様性を未来に放

「つダイバーシティ・ファッションショー」

時 期 2021年5月30日(日)より配信開始

場 所 オンライン

内 容

メディアアーティストの落合陽一を総合演出に迎え、11組のモデル・テック企業・ファッションブランドがタッグを組んで作品を制作し、ランウェイを練り歩くファッションショーを収録・配信した。モデルの多様な身体を起点にして、それぞれの身体性に寄りそうテクノロジーにファッションデザインの視点を盛り込んで拡張。11組の制作チームそれぞれへのインタビュー映像も公開し、制作プロセスを紹介した。

動画再生回数 541,739回 (2022年3月31日現在)

d. 国内外の障害のあるアーティストらによるミュージックビデオ「You Gotta Be」の発表

時 期 2021年6月14日(月)より配信開始

場 所 オンライン

内 容

コロナ禍による不安が長期化する中で、世界で活躍する障害のあるアーティストたちが共演し、未来への希望を持って日常をひたむきに生きる尊さをうたったミュージックビデオを制作・配信した。9か国13名の障害のあるアーティストが参加し、好評を得た。

動画再生回数 1,644,580回 (2022年3月31日現在)

e. オンライン映画祭「True Colors Film Festival」

時 期 2021年12月3日(金)～12月12日(日)

場 所 オンライン

内 容

コロナ禍での取り組みとして、無料のオンライン映画祭 TRUE COLORS FILM FESTIVAL の第二弾を開催。テーマは「視点」とし、変化と共にあるこの時代に、作品を通して違和感と向き合い、これまで良しとしてきた物事を問い直す機会となることを目指した。プログラムは、長編・短編を合わせて12カ国から集まった31作品。長編作品はシンガポールの映画配信サービス「Projector Plus」を、短編作品はフェスティバルの公式Vimeoチャンネルを通じて配信したほか、より幅広い層に向けて取り組みを伝えるため、イギリスの映画配信プラットフォーム FilmbankMedia を通じ、「Zootopia」「Nomadland」の特別上映も行った。

総視聴回数 23,905回

総視聴国数 71か国

<関連イベント>

開催日 2022年1月14日(金)

場所 スペースFS汐留 (港区東新橋)

鑑賞サポート 日本語バリアフリー字幕(上映)、日本手話・日本語字幕(トーク)、
車椅子席

企画 東京大学UNiTeUnite EMPOWER Project

出演 アレクサンドリア・ウェイルズ

(『コーダ あいのうた』アメリカ手話監督)*

遥 海 (シンガーソングライター)

川俣郁美 (日本財団)、菅田利佳 (UNiTe)

※映像出演、

進行 飯山智史・佐々俊之 (UNiTe)

来場者数 111名 (鑑賞サポート利用者数：車椅子席3名、手話の見やすい席34名)

内容

ろう者の家族の中でコーダ (聴覚障害者の親を持つ子供) として生まれ、歌うことを夢見た主人公の一家の愛と勇気を描いた映画「コーダ あいのうた」の日本語バリアフリー字幕版の特別先行試写会を行った。SDGsの世界実現を目指して活動する学生団体・東京大学 UNiTeとの共同企画として、同作にASL(アメリカ手話)監督として参加し、聴覚に障害があり、俳優でダンサー、教育者でもあるアレクサンドリア・ウェイルズへの学生による事前インタビュー映像の公開のほか、ゲストとのアフタートークを実施。

f. 情報発信と広報PRの実施

ホームページやプロモーションビデオを利用した情報発信のほか、チラシ、ポスター、インターネット、ソーシャルメディア等、さまざまな媒体を通じた広報・PR活動を行った。

特に、フジテレビのオンラインイベント「THE ODAIBA 2021 バーチャル冒険 아일랜드」と協働し、ミュージックビデオを制作したほか、ラジオ番組「SCHOOL OF LOCK!」(TOKYO FMをキー局にJFN系38局で放送)と協働し、年齢・性・障害などの「違い」に着目した番組内コーナー「SOCIAL LOCKS!」をスタートするなど、マスメディアを活用した取り組みを行うことができた。

一方、これまでにTrue Colors Festivalで制作したビデオを素材として、子供や大学生を対象としたアウトリーチ・プログラムも実施。オンラインでビデオ鑑賞をした後、制作者やプロデューサーなど関係者がトーク・ディスカッションする場を設けることで、よりメッセージを掘り下げる対話を促す活動を行うことができた。

III. 総務報告

1. 評議員・役員に関する事項

(1) 評議員

吉倉和宏 2020年7月27日再任 日本財団常務理事
菅井明則 2020年7月27日再任 笹川平和財団常務理事
中西由郎 2020年7月27日再任 元日本ゲートボール連合専務理事

(2) 理事

横尾紀彦(理事長) 2020年7月27日再任 につぼん文楽プロジェクト理事長
小澤 直 2020年7月27日再任 日本財団パラリンピックサポートセンター常務理事
菅原悟志 2020年7月27日再任 ブルーシー・アンド・グリーンラド財団理事長

(3) 監事

山田恵一郎 2020年7月27日就任 笹川平和財団部長

以上 2022年3月31日現在

2. コロナ禍における事務局体制

2021年度は、2020年度同様に新型コロナウイルスの感染拡大や、東京都に緊急事態宣言、まん延防止措置が発出されたため、事務局職員の安全確保と事業実施が両立できるよう、在宅勤務を主とした勤務体制を継続して実施した。また、在宅勤務期間中は、職員間の情報が減少することから、勤務日はオンラインによる「朝礼」を行い、情報交換と健康の確認を前年度同様に実施した。

また、職員の出張やイベントの実施、障害者施設を訪問する際には、その都度 PCR 検査を受けさせ感染対策を継続実施した。

3. 事業部制への移行

2021年10月1日、団体内の組織をグループ制から事業部制に変更し、迅速な意思決定や行動の実現、責任の所在のより一層明確化を促進し、今後の事業を実施していくこととした。

| 旧 | | 新 |
|----------------|---|---------------|
| パフォーマンスアーツグループ | ⇒ | パフォーマンスアーツ事業部 |
| ビジュアルアーツグループ | ⇒ | ビジュアルアーツ事業部 |
| 広報グループ | ⇒ | 情報発信事業部 |
| 総務・経理グループ | ⇒ | 管理部 |

4. 職員について

今後の事業実施に必要な人員を確保するため、2021年4月に職員9名（臨時職員を含む）との雇用契約を更新した。加えて、2022年1月に1名を有期契約職員として、2021年10月に1名を臨時職員として採用するとともに、引き続き人材派遣会社からも1名を継続して受け入れた。

なお、2021年6月、2022年3月に、計2名の有期契約職員が退職した。

2021年度決算報告書

2022年3月期決算の前提条件

2021年4月～2022年3月

■事業費・管理費組替計算根拠（明細別紙）

| | | |
|---------|-------|-------|
| ・事業費の比率 | | 96.2% |
| ・管理費の比率 | | 3.8% |

■正味財産増減計算書内訳表

| | | |
|-----------|-------|-------|
| ・受取助成金の配分 | | |
| 事業費（事業会計） | | 96.0% |
| 管理費（法人会計） | | 4.0% |

以上

貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位:円)

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|------------------------|---------------|---------------|--------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金 | 917,280 | 681,671 | 235,609 |
| 普通預金(三菱-虎ノ門) | 1,212,426 | 1,212,426 | 0 |
| 普通預金(三菱-本店) | 1,115,594,353 | 1,165,872,328 | -50,277,975 |
| 普通預金(みずほ-神田) | 381,171,784 | 375,952,618 | 5,219,166 |
| 普通預金(郵貯-神田錦町) | 92 | 67 | 25 |
| 普通預金(住友-神田) | 1,650,350 | 1,616,333 | 34,017 |
| 普通預金(楽天-第二営業) | 7,078,472 | 3,212,697 | 3,865,775 |
| 未収金 | 40,686 | 0 | 40,686 |
| 仮払金 | 0 | 0 | 0 |
| 預け金 | 63,708 | 41,646 | 22,062 |
| 前払費用 | 1,303,918 | 1,303,918 | 0 |
| 立替金 | 7,681 | 120 | 7,561 |
| 流動資産合計 | 1,509,040,750 | 1,549,893,824 | -40,853,074 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 基本財産※ 普通預金(郵貯-神田錦町) | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 |
| 基本財産合計 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 |
| (2) 固定資産 | | | |
| 有形固定資産 | 380,975,396 | 414,904,636 | -33,929,240 |
| 固定資産合計 | 380,975,396 | 414,904,636 | -33,929,240 |
| (2) その他固定資産 | | | |
| 敷金 | 4,158,000 | 4,158,000 | 0 |
| その他固定資産合計 | 4,158,000 | 4,158,000 | 0 |
| 固定資産合計 | 388,133,396 | 422,062,636 | -33,929,240 |
| 資産合計 | 1,897,174,146 | 1,971,956,460 | -74,782,314 |
| II 負債の部 | | | |
| (1) 流動負債 | | | |
| 未払金 | 67,465,259 | 10,276,199 | 57,189,060 |
| 預り金 | 877,915 | 521,367 | 356,548 |
| 仮受金 | 1,355,331,622 | 1,533,045,917 | -177,714,295 |
| 流動負債合計 | 1,423,674,796 | 1,543,843,483 | -120,168,687 |
| (2) 固定負債 | | | |
| 固定負債合計 | 0 | 0 | 0 |
| 負債合計 | 1,423,674,796 | 1,543,843,483 | -120,168,687 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 指定正味財産合計 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 |
| (内基本財産への充当額) | (3,000,000) | (3,000,000) | (0) |
| (内特定財産への充当額) | (0) | (0) | (0) |
| 2. 一般正味財産 | | | |
| 一般正味財産合計 | 470,499,350 | 425,112,977 | 45,386,373 |
| 正味財産合計 | 473,499,350 | 428,112,977 | 45,386,373 |
| 負債及び正味財産合計 | 1,897,174,146 | 1,971,956,460 | -74,782,314 |

※基本財産については、これまで郵便貯金口座で管理、指定正味財産において基本財産に充当していたが、定款第5条、第6条に基づき、基本財産としてより明確化することとした。

貸借対照表内訳表

2021年3月31日現在

(単位：円)

| 科目 | 事業会計 | 法人会計 | 合計 |
|--------------------|---------------|-------------|---------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金 | 0 | 917,280 | 917,280 |
| 普通預金(三菱-虎ノ門) | 0 | 1,212,426 | 1,212,426 |
| 普通預金(三菱-本店) | 1,071,077,908 | 44,516,445 | 1,115,594,353 |
| 普通預金(みずほ-神田) | 365,924,913 | 15,246,871 | 381,171,784 |
| 普通預金(郵貯-神田錦町) | 0 | 92 | 92 |
| 普通預金(住友-神田) | 1,650,350 | 0 | 1,650,350 |
| 普通預金(楽天-第二営業) | 7,078,472 | 0 | 7,078,472 |
| 未収金 | 40,686 | 0 | 40,686 |
| 仮払金 | 0 | 0 | 0 |
| 預け金 | 0 | 63,708 | 63,708 |
| 前払費用 | 0 | 1,303,918 | 1,303,918 |
| 立替金 | 0 | 7,681 | 7,681 |
| 流動資産合計 | 1,445,772,329 | 63,268,421 | 1,509,040,750 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 基本財産 普通預金(郵貯-神田錦町) | 0 | 3,000,000 | 3,000,000 |
| 基本資産合計 | 0 | 3,000,000 | 3,000,000 |
| (2) 固定資産 | | | |
| 有形固定資産 | 380,975,396 | 0 | 380,975,396 |
| 固定資産合計 | 380,975,396 | 0 | 380,975,396 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 敷金 | 0 | 4,158,000 | 4,158,000 |
| その他固定資産合計 | 0 | 4,158,000 | 4,158,000 |
| 固定資産合計 | 380,975,396 | 7,158,000 | 388,133,396 |
| 資産合計 | 1,826,747,725 | 70,426,421 | 1,897,174,146 |
| II 負債の部 | | | |
| (1) 流動負債 | | | |
| 未払金 | 66,517,214 | 948,045 | 67,465,259 |
| 預り金 | 0 | 877,915 | 877,915 |
| 仮受金 | 1,297,728,771 | 57,602,851 | 1,355,331,622 |
| 流動負債合計 | 1,364,245,985 | 59,428,811 | 1,423,674,796 |
| (2) 固定負債 | | | |
| 固定負債合計 | 0 | 0 | 0 |
| 負債合計 | 1,364,245,985 | 59,428,811 | 1,423,674,796 |
| III 正味資産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 指定正味財産合計 | 0 | 3,000,000 | 3,000,000 |
| (内基本財産への充当額) | (0) | (3,000,000) | (3,000,000) |
| (内特定資産への充当額) | (0) | (0) | (0) |
| 2. 一般正味財産 | | | |
| 一般正味財産合計 | 462,501,740 | 7,997,610 | 470,499,350 |
| 正味財産合計 | 462,501,740 | 10,997,610 | 473,499,350 |
| 負債及び正味財産合計 | 1,826,747,725 | 70,426,421 | 1,897,174,146 |

正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|----------------------|-------------|-------------|--------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| ① 事業収益 | | | |
| 事業収益 | 505,769,047 | 803,923,806 | -298,154,759 |
| 受取助成金 | 504,475,692 | 803,786,929 | -299,311,237 |
| 事業収益 | 1,293,355 | 136,877 | 1,156,478 |
| ② 雑収益 | | | |
| 雑収益 | 45,392 | 5,528 | 39,864 |
| 受取利息 | 78 | 66 | 12 |
| 雑収益 | 45,314 | 5,462 | 39,852 |
| 経常収益計 | 505,814,439 | 803,929,334 | -298,114,895 |
| (2) 経常費用 | | | |
| ① 事業費 | | | |
| 業務委託費 | 335,647,857 | 278,449,187 | 57,198,670 |
| 諸謝金 | 147,068 | 187,274 | -40,206 |
| 印刷製本費 | 1,213,171 | 1,705,449 | -492,278 |
| 広報費 | 763,400 | 480,129 | 283,271 |
| 会議費 | 254,109 | 195,530 | 58,579 |
| 旅費交通費 | 2,237,324 | 986,880 | 1,250,444 |
| 会場使用料 | 5,604,270 | 6,183,166 | -578,896 |
| 通信運搬費 | 4,462,651 | 4,250,017 | 212,634 |
| 消耗品費 | 224,697 | 703,143 | -478,446 |
| 資料購入費 | 127,689 | 238,552 | -110,863 |
| 修繕費 | 1,039,194 | 1,061,327 | -22,133 |
| 賃借料 | 958,650 | 973,107 | -14,457 |
| 減価償却費 | 33,929,240 | 28,274,364 | 5,654,876 |
| 保険料 | 30,690 | 119,040 | -88,350 |
| 租税公課(事業) | 3,742,900 | 0 | 3,742,900 |
| 諸会費 | 0 | 84,150 | -84,150 |
| 研修費 | 0 | 89,250 | -89,250 |
| 手数料(事業) | 102,021 | 39,109 | 62,912 |
| 支払手数料(事業) | 0 | 0 | 0 |
| 為替差損 | 0 | 0 | 0 |
| 雑損失 | 660 | 4,877 | -4,217 |
| 雑費 | 1,735,250 | 563,335 | 1,171,915 |
| 給料手当 | 31,662,432 | 29,320,010 | 2,342,422 |
| 法定福利費 | 4,901,643 | 4,752,470 | 149,173 |
| 人材派遣費 | 4,423,627 | 4,577,986 | -154,359 |
| 事務消耗品費 | 1,802,460 | 1,232,950 | 569,510 |
| 地代家賃 | 7,792,620 | 7,020,000 | 772,620 |
| ・事業費 計(1) | 442,803,623 | 371,491,302 | 71,312,321 |
| ② 管理費 | | | |
| 役員報酬 | 1,800,000 | 1,800,000 | 0 |
| 給料手当 | 5,291,628 | 5,184,756 | 106,872 |
| 法定福利費 | 819,196 | 870,420 | -51,224 |
| 通勤費 | 859,786 | 1,279,826 | -420,040 |
| 福利厚生費 | 198,538 | 96,507 | 102,031 |
| 人材派遣費 | 0 | 0 | 0 |
| 印刷製本費 | 0 | 0 | 0 |
| 会議費 | 18,930 | 3,630 | 15,300 |
| 旅費交通費 | 142,787 | 83,287 | 59,500 |
| 通信運搬費 | 1,113,118 | 1,173,831 | -60,713 |
| 事務消耗品費 | 403,708 | 273,990 | 129,718 |
| 修繕費 | 99,880 | 16,500 | 83,380 |
| 水道光熱費 | 304,426 | 294,421 | 10,005 |
| 地代家賃 | 1,745,360 | 1,560,000 | 185,360 |
| 新聞図書費 | 0 | 0 | 0 |
| 保険料 | 0 | 38,500 | -38,500 |
| 諸会費 | 131,450 | 127,575 | 3,875 |
| リース料 | 3,044,512 | 3,014,984 | 29,528 |
| 租税公課 | 70,000 | 70,000 | 0 |
| 支払手数料 | 332,502 | 465,630 | -133,128 |
| 手数料 | 925,737 | 831,946 | 93,791 |
| 雑費 | 322,174 | 205,188 | 116,986 |
| 事務所移転費 | 0 | 0 | 0 |
| 雑損失 | 711 | 1,146 | -435 |
| ・管理費 計(2) | 17,624,443 | 17,392,137 | 232,306 |
| 経常費用合計(1)+(2) | 460,428,066 | 388,883,439 | 71,544,627 |
| 当期経常増減額 | 45,386,373 | 415,045,895 | -369,659,522 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | 45,386,373 | 415,045,895 | -369,659,522 |
| 当期一般正味財産増減額 | 45,386,373 | 415,045,895 | -369,659,522 |
| 一般正味財産期首残高 | 425,112,977 | 10,067,082 | 415,045,895 |
| 一般正味財産期末残高 | 470,499,350 | 425,112,977 | 45,386,373 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | 473,499,350 | 428,112,977 | 45,386,373 |

正味財産増減計算書内訳表
2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

| 科目 | 事業会計 | 法人会計 | 合計 |
|-----------------|-------------|------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| ① 事業収益 | 485,590,019 | 20,179,028 | 505,769,047 |
| 受取助成金 | 484,296,664 | 20,179,028 | 504,475,692 |
| 事業収益 | 1,293,355 | 0 | 1,293,355 |
| ② 雑収益 | 45,314 | 78 | 45,392 |
| 受取利息 | 0 | 78 | 78 |
| 雑収益 | 45,314 | 0 | 45,314 |
| 経常収益計 | 485,635,333 | 20,179,106 | 505,814,439 |
| (2) 経常費用 | | | |
| ① 事業費 | | | |
| 給料手当 | 31,662,432 | | |
| 法定福利費 | 4,901,643 | | |
| 人材派遣費 | 4,423,627 | | |
| 事務消耗品費 | 1,802,460 | | |
| 地代家賃 | 7,792,620 | | |
| 業務委託費 | 335,647,857 | | |
| 諸謝金 | 147,068 | | |
| 印刷製本費 | 1,213,171 | | |
| 広報費 | 763,400 | | |
| 会議費 | 254,109 | | |
| 旅費交通費 | 2,237,324 | | |
| 会場使用料 | 5,604,270 | | |
| 通信運搬費 | 4,462,651 | | |
| 消耗品費 | 224,697 | | |
| 資料購入費 | 127,689 | | |
| 修繕費 | 1,039,194 | | |
| 賃借料 | 958,650 | | |
| 減価償却費 | 33,929,240 | | |
| 保険料 | 30,690 | | |
| 租税公課(事業) | 3,742,900 | | |
| 諸会費 | 0 | | |
| 研修費 | 0 | | |
| 手数料(事業) | 102,021 | | |
| 支払手数料(事業) | 0 | | |
| 為替差損 | 0 | | |
| 雑損失 | 660 | | |
| 雑費 | 1,735,250 | | |
| ・事業費計(1) | 442,803,623 | 0 | 442,803,623 |
| ② 管理費 | | | |
| 役員報酬 | | 1,800,000 | |
| 給料手当 | | 5,291,628 | |
| 法定福利費 | | 819,196 | |
| 通勤費 | | 859,786 | |
| 福利厚生費 | | 198,538 | |
| 印刷製本費 | | 0 | |
| 会議費 | | 18,930 | |
| 旅費交通費 | | 142,787 | |
| 通信運搬費 | | 1,113,118 | |
| 事務消耗品費 | | 403,708 | |
| 修繕費 | | 99,880 | |
| 水道光熱費 | | 304,426 | |
| 地代家賃 | | 1,745,360 | |
| 新聞図書費 | | 0 | |
| 保険料 | | 0 | |
| 諸会費 | | 131,450 | |
| リース料 | | 3,044,512 | |
| 租税公課 | | 70,000 | |
| 支払手数料 | | 332,502 | |
| 手数料 | | 925,737 | |
| 雑費 | | 322,174 | |
| 事務所移転費 | | 0 | |
| 雑損失 | | 711 | |
| ・管理費計(2) | 0 | 17,624,443 | 17,624,443 |
| 経常費用合計(1)+(2) | 442,803,623 | 17,624,443 | 460,428,066 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 42,831,710 | 2,554,663 | 45,386,373 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | 42,831,710 | 2,554,663 | 45,386,373 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | 42,831,710 | 2,554,663 | 45,386,373 |
| 当期一般正味財産増減額 | 42,831,710 | 2,554,663 | 45,386,373 |
| 一般正味財産期首残高 | 419,670,030 | 5,442,947 | 425,112,977 |
| 一般正味財産期末残高 | 462,501,740 | 7,997,610 | 470,499,350 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 3,000,000 | 3,000,000 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 3,000,000 | 3,000,000 |
| III 正味財産期末残高 | 462,501,740 | 10,997,610 | 473,499,350 |

監事監査報告書

一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

理事長 横尾紀彦 殿

本法人の2021年度事業年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の業務及び財産の状況について監査を行いました結果、何れも適法かつ正確であることを認めます。

また、会計監査人西尾公認会計士事務所の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上

2022年 6月 17日

監事 山田 恵一郎 ⑩